

大阪市コンプライアンス白書（平成 29 年度版）【概要版】

●大阪市で考える「コンプライアンス」の意味

法令等をしっかり守ることを基本とし、全体の奉仕者として、法令の奥にある市民の要請を理解し、これに応えていくこと



市民から信頼される市政運営に向けて
コンプライアンスの確保のための組織的な仕組みづくりや
職員のコンプライアンス意識の向上

●平成 29 年度の取組結果

公益通報制度の運用

- 受付件数が高止まり（761 件）している公益通報について、処理の適正な進捗管理
＝次年度への処理継続件数が減少（平成 28 年度末 107 件→平成 29 年度末 87 件）
- 違法又は不適正な事実が認められた案件 50 件について、是正・再発防止措置がとられていることを確認
＝公益通報制度が公正な職務の執行に寄与
- 大阪市公正職務審査委員会から大阪市長あての意見（組織マネジメントの観点からの服務規律確保の徹底）を踏まえた取組
＝服務規律に関する通報は減少の傾向

課題

- ☆引き続き調査審議の公正性の確保と迅速化が必要
- ☆同種内容の通報が繰り返し多数寄せられる傾向
＝状況によっては、制度の実効性を確保する観点からの対応の検討
- ☆服務規律確保のための必要な取組の継続

不当要求行為への対応

- 職員に対する「行政対象暴力対応研修」は実践的な内容であったとの受講者の評価
＝有効な取組

課題

- ☆不当要求行為に対する取組について職員への継続的な周知

職員のコンプライアンス意識向上のための取組

- 「日々の業務を執行するにあたって、コンプライアンスを意識している」職員の割合が増加
＝コンプライアンス意識向上のための取組に一定の成果

課題

- ☆職員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上とともに、組織においてコンプライアンス違反を起こさせないための行動の重視
- ☆上司から部下職員への効果的な働きかけ
- ☆区役所・局等における主体的かつ効果的な取組の推進

★平成 29 年度のコンプライアンス確保の取組に対する全体評価★ (職員アンケートの結果より)

- アンケートの各項目の結果が改善
＝コンプライアンス確保のための各種取組の効果的な実施、定着
- 「日々の業務を執行するにあたって、コンプライアンスを意識している」職員の割合が年々増加
＝個々の職員のコンプライアンス意識は着実に向上

課題

- ☆コンプライアンス違反を発生させないための組織的な仕組みづくりの推進

【アンケート結果】

- ・「日々の業務執行にあたって、コンプライアンスを意識している」職員の割合
平成27年度95.9% ➡平成28年度96.5% ➡平成29年度96.8%



●平成 30 年度 of 取組内容

- 公益通報案件の着実な処理
- 不当要求行為対応等の認知率向上
- コンプライアンス確保のための組織的な取組の推進
＝「自分の業務を『コンプライアンス』の観点で振り返ってみよう」
- 上司の役割を意識した取組の推進
- 職場等の実態に応じた取組の推進